

# 各種事業実態調査

(街地区・北部地区)

中央生涯教育センター 地域づくり推進室

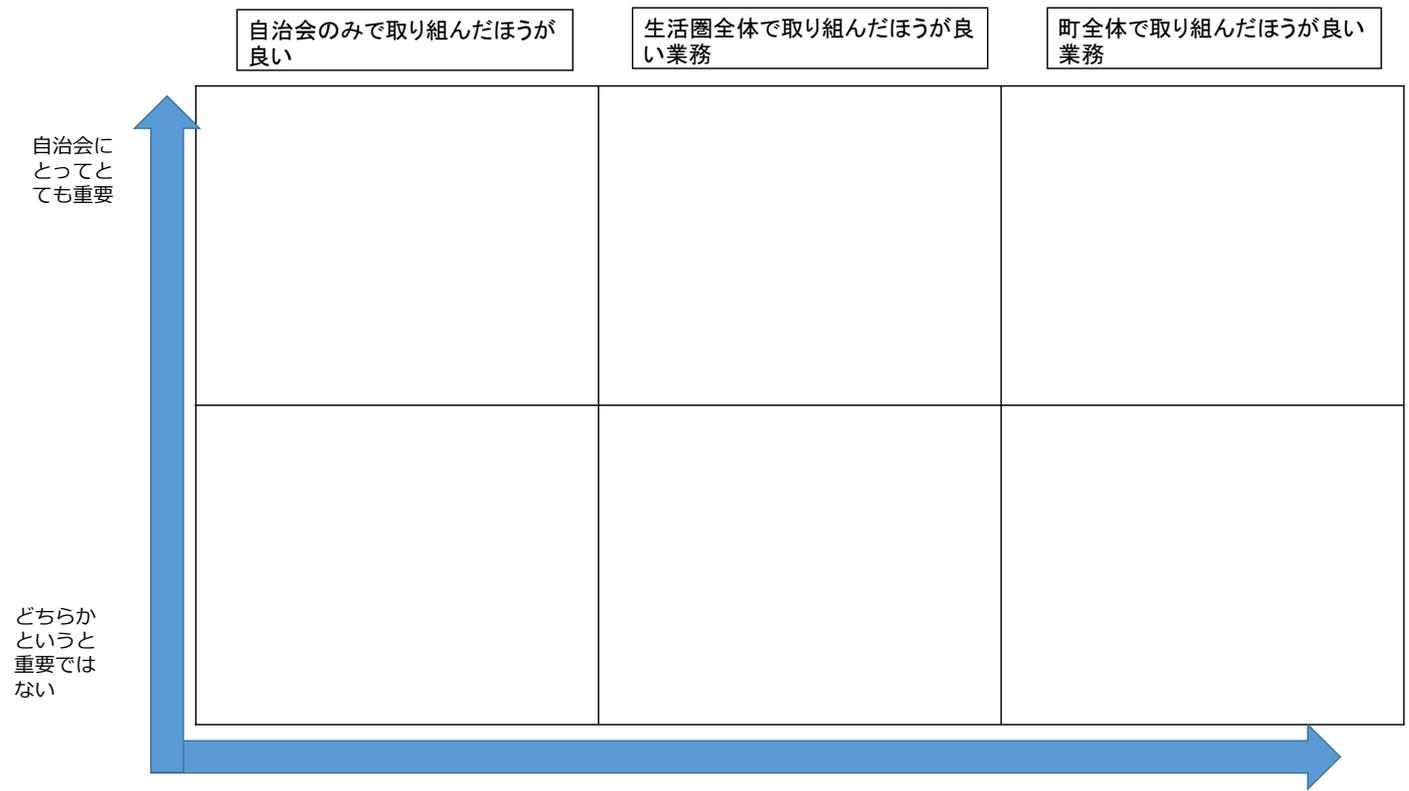
1

## 街地区・北部地区自治会長ヒアリング

### (1) 調査結果

#### 《ヒアリング対象の主な事業》

- ・ 金ヶ崎町クリーン作戦
- ・ 自治会連合会運動会
- ・ 地域活性化委員会
- ・ 町郷土カルタ大会
- ・ 町民懇談会
- ・ 生活環境フェア
- ・ たくましかねがさきっ子育成推進大会
- ・ 地域づくりフォーラム
- ・ 神社例大祭
- ・ 自治会連合会敬老会
- ・ 地区球技大会
- ・ 金ヶ崎マラソン大会
- ・ 医療セミナー
- ・ 福祉懇談会



事業名	町民懇談会
事業内容	特に住民に周知すべき政策や事業について、説明を行い、要望を聞くことで町政に反映し、住民生活の向上を図る。

## 1 集計

	北部	街	合計
1 重要	3	6	9
2 重要でない	7	4	11
3 未回答	1	0	1

## 2 全体の傾向

- ▶重要と答えた自治会より、重要でないと答えた自治会がやや上回る
- ▶重要と答えた多くの自治会で、事業そのものの重要性を感じているが、現状の事業の持ち方に対する改善を望んでいる。  
(【例】町からの説明が長い。住民の要望を役場が聞き流している。など)
- ▶「重要でない」と答えた自治会の多くが、事業の持ち方に対するものが多い。
- ▶「重要でない」と答えた自治会の多くが、座談会で十分であると答えている。
- ▶「重要でない」と答えた自治会の中には、事業自体の重要性は認めつつ、自治会でなく個人の参加でよいと考えている。

5

## 3 主な意見

### 《重要》

- ▶住民に広く参加してほしいが、役場としてもテーマ設定と説明の仕方を工夫してほしい。  
資料の表面のみをなぞるだけでは、わかりにくい。
- ▶必要な事業だと思うが、役場からの説明が長すぎる。他の自治会の課題を知ることはよいことだが、誰かが意見を言うと、それと違う意見は言いにくい。例えば、防災有線が聞こえないと質問が出れば、うるさいと思っていても言えなくなる。  
また、質問をしても、「お金がない」という一言で片づけられることも多い。
- ▶役場が資料を読み上げて終わり。声掛けして無理に集まってもらっているが参加が少ない。
- ▶地域の課題を役場に伝えたり、町に要望を言う機会として大切。

### 《重要でない》

- ▶セレモニー化している。質問しても予算がないなどの回答を聞くだけ。
- ▶特定のテーマがあれば参加を呼び掛けることも考えるが、幅広いテーマで、質問に対するフィードバックも役場からないように感じる。  
ただし、町長や教育長と話す機会としては、重要なものかもしれない。
- ▶地域のガス抜き場としては必要だと思うが、あの場で質問できる人は一部の人に限定される。
- ▶役場の体裁のために参加者も集めなければならないと思っているが、重要な事業ではない。  
あの場で質問しにくいし、役場からの一方的な説明ではなく、事前に自治会ごとに要望を出してもらうなど、工夫が必要ではないか。
- ▶自治会の座談会で十分。街地区全体で30人から40人を集めてやるような事業ではない。
- ▶今年から動員がなくなって心理的負担が減った。結果、動員しなくても5名が参加しているので、行きたい人が参加すればよい。

6

事業名	医療セミナー
事業内容	特定の病気をテーマに、岩手医大の医師等を招いて講演を行うことで、町民の健康に対する意識情勢を図る

## 1 集計

	北部	街	合計
1 重要	4	1	5
2 重要でない	6	7	13
3 未回答	1	2	3

## 2 全体の傾向

- 重要と答えた自治会よりも、重要でないと答えた自治会が多い。
- 重要と答えた自治会の多くが、事業そのものはよいが自治会への動員について不満に感じている。
- 「重要でない」と答えた自治会でも、事業そのものに対してはよい事業と考えているが、自治会への動員ではなく個人参加を望んでいる。
- その他に、自治会が希望する医療・健康に対する出前講座を希望する声もある。

7

## 3 主な意見

### 《重要》

- 大切な事業だと思うが、専門性が高すぎるので自治会長に案内をもらっても困る。
- 取り組み自体はよいが、自治会への動員はやめるべき。
- 良い事業だとは思いますが、動員依頼があっても、特に自治会内には声をかけない。

### 《重要でない》

- 自治会としての重要度は低い。興味のある人が参加すればよい。
- 本当に参加したい人には広報等で周知すればよいし、役場のほうでセミナーの対象者を考えて周知すべき。
- 自治会長に動員が来ても、役員しか参加できない。広報での周知で十分だと思うが、出前講座などで保健師さんに来てもらうことで十分だと思う。
- セミナーが多すぎる。

8

事業名	生活環境フェア
事業内容	公衆衛生や交通安全・防犯などの生活環境全般に対する啓発事業及び表彰事業

## 1 集計

	北部	街	合計
1 重要	5	3	8
2 重要でない	4	3	7
3 未回答	2	4	6

## 2 全体の傾向

- ▶重要と答えた自治会と重要でないと答えた自治会はほぼ同数
- ▶複数のイベントをまとめて実施したことに対し評価する声が多い
- ▶動員に対しては、否定的な意見が多く、自治会長でなくても良いという意見が多い
- ▶イベントの内容については、見直しを求める声も多い

9

## 3 主な意見

### 《重要》

- ▶良い事業だと思うが、みんな忙しい中で人を出すのは難しい。
- ▶実施すること自体はよいが、動員があっても役員等への呼びかけはしない。
- ▶取組自体はよいのかもしれないが、式典中心で内容がもう一つである
- ▶イベントの集約を行った良い事業だと思う。

### 《重要でない》

- ▶関係者だけで表彰すればよいのではないか。
- ▶いつもと変わり映えしない。今の時代に必要な啓発・啓蒙があるのであればよいが、そうでないのならやめて良い。
- ▶時代に合わなくなったと思うので、やめても良いのでは。

10

事業名	地区敬老会（自治会連合会）
事業内容	75歳以上の方を対象に、年に一回開催し、記念品や飲食、余興等により、高齢者を敬う。

## 1 集計

	北部	街	合計
1 重要	7	8	15
2 重要でない	2	1	3
3 未回答	2	1	3

## 2 全体の傾向

- ほとんどの自治会で重要な事業と回答
- 自治会単独で敬老事業を実施している自治会もある
- 多くの自治会で自治会長、自治会役員の負担が課題となっている
- これまで女性部が準備やアトラクションを行ってきたが、依頼しにくくなっている自治会も多い
- 自治会主催ではなく、役場（地区センター含む）主催を望む声もある

## 3 主な意見

### 《重要》

- 以前は自治会単独でやっていたが今はやめた。参加者も固定してきたが、楽しみにしている人もいるため、やめることができない事業だと思う。
- 以前は、女性部がアトラクションをやっていたが、今は女性部に声掛けするのも大変になっている。
- 団地の人の参加はゼロ。老人クラブもあるが団地の高齢者は付き合いがないため、加入しておらず、敬老会にも参加しない。団地の高齢者の孤立が課題だと感じている。
- 重要だと思うが、出し物や準備など、負担が大きい。
- 町から補助金も出ているが、自治会からの持ち出しもある。町主催にするか、全額を補助にするなど改善してほしい。
- 役員は大変。高齢者が顔をあわせる機会、交流の場としては大切だと思う。
- 大切な事業であると思うが、すでに運営側が参加対象者になっている状況である中、内容を考え直すべき。参加できない人へ記念品を配るなどの検討も必要では。

### 《重要でない》

- 主催者側が高齢化しており、マンネリ化している。
- 必要な事業だとは思いますが、自治会がその役割を担うべきなのかは疑問。
- 主催は町でいいのではないかと。アトラクションも大変で、参加する人も減っていて、参加する人も係員も負担になっている。芸能を呼ぶ予算もつけてほしい。

### 《その他》

- 自治会というより、自治会長個人の負担が大きい。アトラクションを出せない。これも自治会連合会の事業なので、無理をして参加している。

事業名	地区運動会（自治会連合会）
事業内容	自治会ごとに種目別・年代別の競技を行うことで、自治会内・生活圏内のコミュニケーションを深める。

## 1 集計

	北部	街	合計
1 重要	7	8	15
2 重要でない	3	1	4
3 未回答	1	1	2

## 2 全体の傾向

- ほとんどの自治会で重要な事業と回答
- 重要と回答した自治会の中で、高齢化や人口減少などの影響により、選手選考が困難になっている自治会增加
- 人口が多い自治会では、体育部や青年部が主に運営しているのに対し、高齢化や人口減少が進む自治会では、自治会長や班長が中心になっており、自治会ごとの負担の大きさに大きな差が生じている。

13

## 3 主な意見

### 《重要》

- 体育部長、班長を中心に声掛けして参加者を集めているが、若い人が多く、団地の方も参加してもらえない。
- 他の地区との交流や新住民との交流も進む。参加が多い理由としては、班長が声掛けすること、子供が参加するので親も参加するということがある。
- 他の自治会との交流、子供との交流もできてよい行事だと思う。
- コミュニケーションの場として必要だと思うが、地区センター事業として実施するのが望ましい。
- 重要な事業であると思うが、自治会長が役員であり、準備を含めて負担が大きい。
- 本音を言えばやりたくない。高齢者が顔をあわせる場になっていて、交流の場として大切だと思う。

### 《重要でない》

- 人が減り、高齢化が進む中でやめてもよい。頑張っているがやりづらいし、若い人の参加も少ないので運営も大変。運動会以外を実施したほうがいいのか。
- 優先度も低く、負担が大きい。高齢化していることもあり面白くない。
- 高齢化しており、厳しいという自治会も増えてきた。自治会内のコミュニケーションに役立っていると思うが、全体でやることは難しくなっていると思う。
- 選手も集まらないので大変である。連合会の事業なので無理をして参加している。

14

事業名	地域活性化委員会
事業内容	生活圏を単位に、地域の活性化や課題解決を行うため、自治会に限らず、様々な地域の団体や個人により活動するための組織

## 1 集計

	北部	街	合計
1 重要	3	6	9
2 重要でない	7	3	10
3 未回答	1	1	2

## 2 全体の傾向

- 「重要」と「重要でない」と答えた自治会はほぼ同数
- 重要と答えた自治会にも、「地区センター事業との違いがわからない」「自治会長の負担が大きい」という声が多く、事業そのものは重要だが、実施主体に課題があると感じている自治会が多い。
- 北部地区では、選考方法等の理由から存在をしらない自治会長が多い。
- イベント型から課題解決型への転換を望む声もあるが、一方で、地域全体の取り組みが難しい。

15

## 3 主な意見

### 《重要》

- お祭りのイベントではなく、地域課題を解決していくために変えていく必要がある。高齢化や空き家対策などの課題解決型の取り組みは大切になってくる。
- 方向性が見えない。
- 地域を活性化することは必要。地域にあるものの掘り起こしなどに取り組んでほしい。
- やらないよりはやったほうが良いと思うが、この団体が必要なのかは疑問。

### 《重要でない》

- そもそも活性化とは何なのかが整理されていない。
- 存在そのものを知らない。
- 存在そのものを知らないし、北部地区全体で取り組むことが無理がある。
- 有名無実の団体だと思う。地区センター事業との違いも判らない。
- 人集めが自治会の負担になっている。
- 地区センター事業との違いがよくわからない。自治会連合会と一緒にやる必要もないように感じる。

16

事業名	たくましいかねがさきっ子育成推進大会
事業内容	

## 1 集計

	北部	街	合計
1 重要	0	1	1
2 重要でない	5	3	8
3 未回答	5	7	12

## 2 全体の傾向

- 多くの自治会が、「重要でない」あるいは「参加していない」と回答。
- 多くの自治会が、「PTAや子供会育成会が参加すればよい」と回答。

17

## 3 主な意見

### 《重要》

### 《重要でない》

- 自治会長に聞いてもらうことで、課題解決や新たな取り組みにつなげようという意図で呼ばれるのであればわかるが、そうではないように感じる。PTAや育成会の参加でよいと思う。
- 自治会長に案内はらない。

18

事業名	文化財関係（伝建群・軍馬の郷）
事業内容	

## 1 集計

	北部	街	合計
1 重要	0	0	0
2 重要でない	5	6	11
3 未回答	6	4	10

## 2 全体の傾向

- 自治会にとって重要と答えた自治会はない
- 多くの自治会で、自治会連合会等で決定してしまったことで、やむを得ず実施していると回答

19

## 3 主な意見

### 《重要》

### 《重要でない》

- お付き合いと思って参加しているが、本来は違う。
- 自治会長以外で、ある程度長く関わることができる人たちで運営すべきでは。
- 地域で温度差がある。六原地区でというならよいが、北部地区全体という事には違和感がある。
- 文化財がある地域だけでは大変だから、自治会連合会になったのだと思うが、今のやり方ではいずれ廃れる。
- 自治会連合会で決定したのでやらざるを得ないが、本来は違うと思う。
- なぜ、自治会連合会が関わっているのかわからない。

20

## 街地区・北部地区自治会長ヒアリング

### (2) 調査結果（事業の傾向）

①重要な事業だが、高齢化などで一部役員に負担が集中している。

【例】敬老会、運動会

②自治会が出席、担当する理由が明確になっていない事業について、負担感が強い。

【例】医療セミナー、たくましいかねがさきっこ育成大会  
文化財関係

③行事・事業の実施目的が分かりにくい事業について、負担感が強い。

【例】町民懇談会、地域活性化委員会

21

## 街地区・北部地区自治会長ヒアリング

### (3) 調査結果から考えられる課題

①役場や各種団体と自治会・行政区長の関係性の不明瞭さによる疑問の拡大

➤役場が実施する事業について、自治会長に対して出席依頼や参加人数を明記した動員が増加している。

行事の周知は行政区長業務であると思われるが、役場として全体的な整理を行っていない事で疑問が広がっている。

➤ヒアリングでは、自治会業務以外の業務が増加しているという声大きい。

地域における自治会の役割と役場や各種団体が考える自治会の役割に、大きな違いが生じていることで、疑問や負担感の拡大につながっている。

➤各種委員会の委員について、社会課題の増加や住民参加のブームから、自治会長が選ばれる機会が増加している。

しかし、全自治会を代表する立場にないことや、専門性を有しないことなどから、必ずしも委員選考が効果的に行われていないことに対する疑問が広がっている。

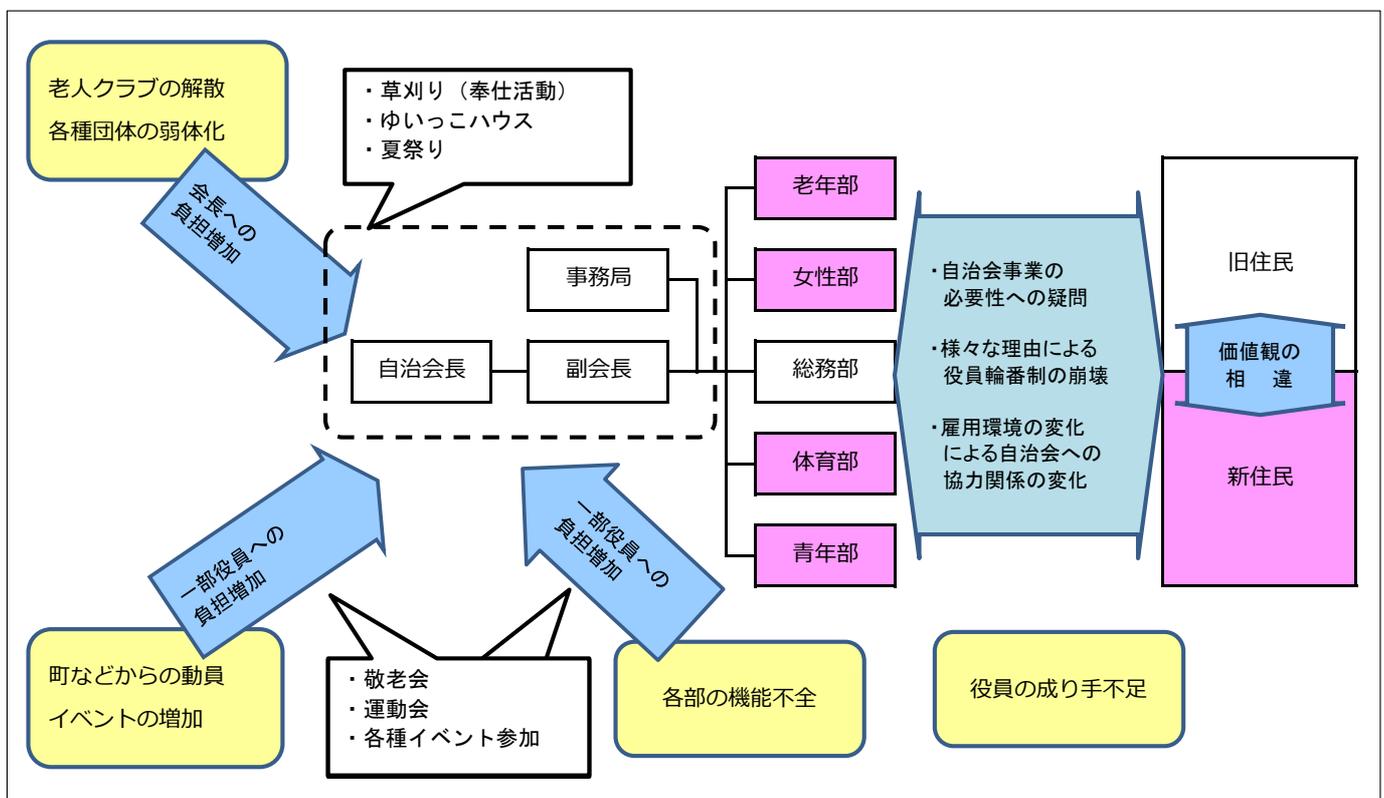
22

## (3) 調査結果から考えられる課題

### ②時代の変化や価値観の変化に対応できない現在の自治会システムの形骸化

- これまでの自治会は、地域の交流事業が多かったが、若い世代や新たに転入・転居してきた住民を中心に負担感につながっている。
- これまでの女性部の役割（料理や清掃など）が、必ずしも女性だけが担う役割ではなかったり、高齢化や雇用形態の変化から各部長が日常的に活動ができないなど、各々が機能せず、自治会長や一部役員への負担増加に繋がっている自治会が多い。
- 役場や各種団体が主催する事業が、実施目的が明確でないことなどに対する疑問から、自治会長が役員や各部に依頼できないケース、各部長や住民が参加を拒むケースも見受けられ、結果として自治会長がすべての行事に参加していることも、自治会長あるいは自治会役員への負担増加に繋がっている。

23

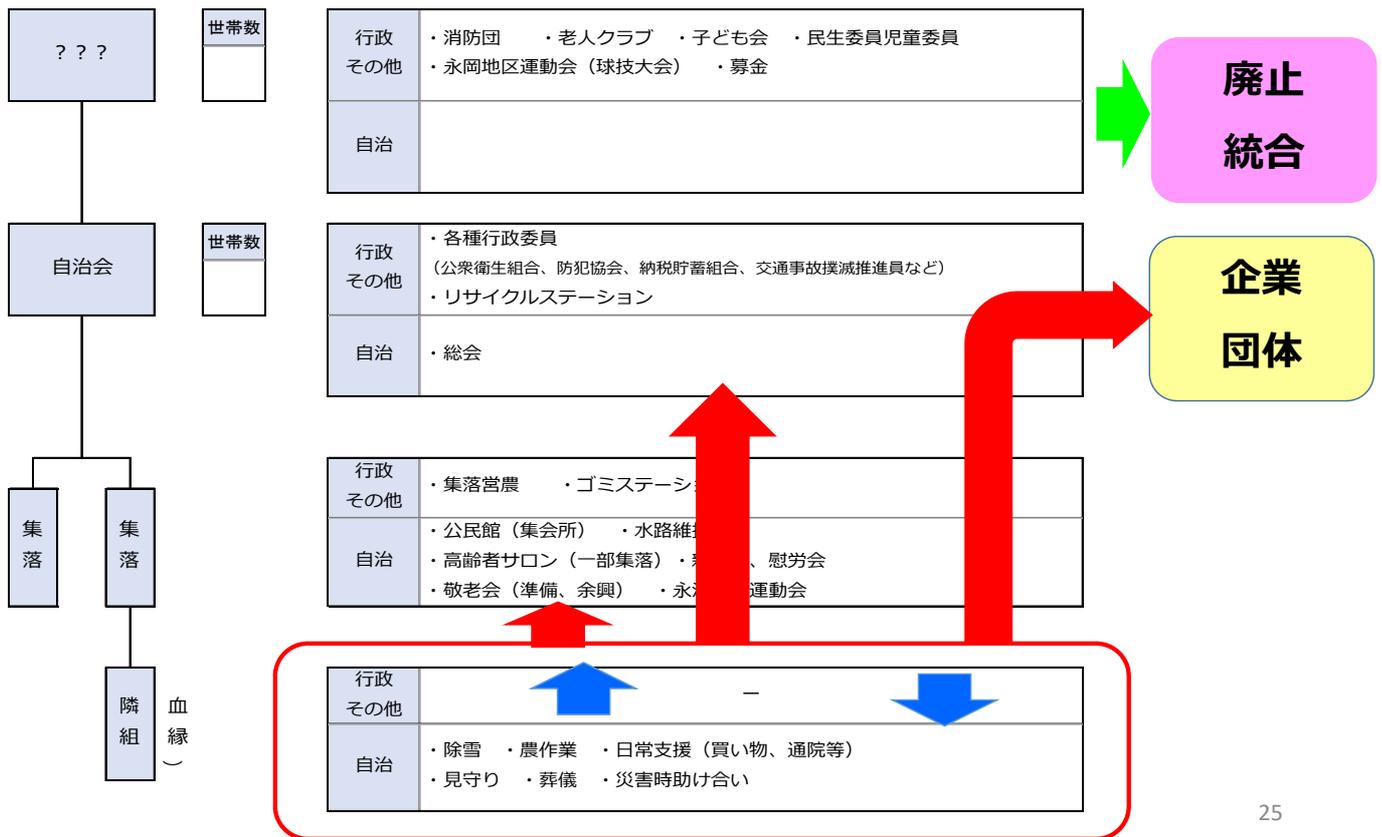


**自治会 ≠ 自治（共助）組織**

24

# 街地区・北部地区自治会長ヒアリング

## 「地域の階層ごとの課題」



25

# 街地区・北部地区自治会長ヒアリング

## 【除雪】

- 農村部では地縁・血縁による互助が機能  
(徐々に大変になっている)
- 新興住宅地 (昭和40年代) は地縁・血縁による互助機能がなところが多い  
(自治会によってが、自治会役員による対応を検討)
- 新興住宅地 (平成以降) は地縁・血縁による互助機能がな  
(50才代が多いこと等から、課題意識は薄い)

26

## 街地区・北部地区自治会長ヒアリング

### 【農作業・草刈り】

- 農村部では地縁・血縁による互助が機能  
(徐々に大変になり、シルバー人材センターへの委託で対応も)
- 新興住宅地（昭和40年代）は互助が機能  
(共有地の草刈りについて高齢者のみ世帯の対応について検討)
- 新興住宅地（平成以降）は互助が機能していない  
(共有地の草刈りは行うものの隣家の草刈り等に対する苦情が増加)

### 【日常支援（買い物・通院）】

- 農村部では地縁・血縁による互助が機能  
(事故を心配し躊躇する声、支援者自身が高齢化による不安増加)
- 新興住宅地（昭和40年代）は互助がやや機能  
(対象者がまだ多くないものの徐々に課題意識が増加)
- 新興住宅地（平成以降）は互助の対象外という意識  
(対象者が多くない事、互助の対象ではないという認識が強い)

27

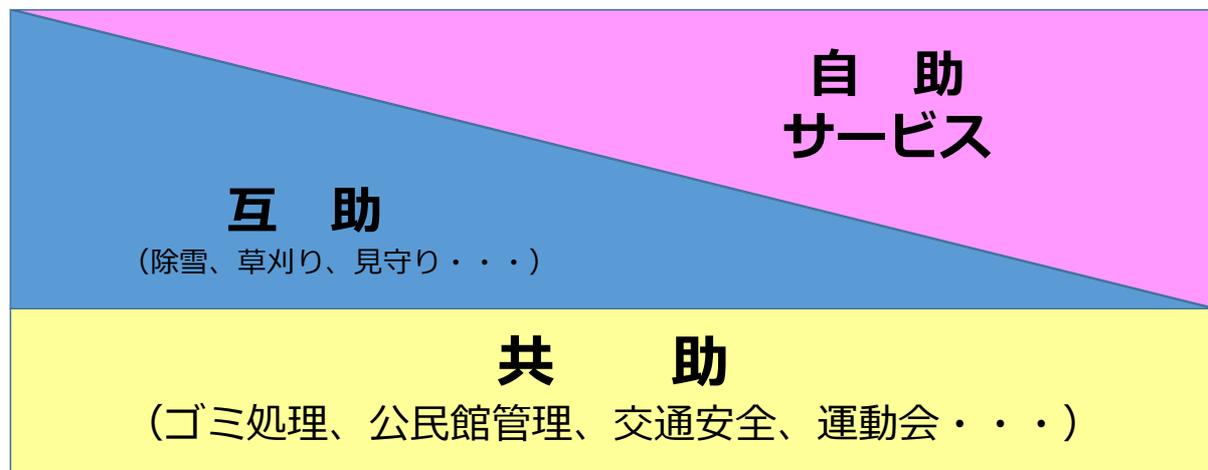
### 【見守り・高齢者支援】

- 農村部では地縁・血縁による互助が機能  
(支援者自身が高齢化、専門性のなさによる不安増加)
- 新興住宅地（昭和40年代）は互助機能がないところが多い  
(プライバシーの問題、専門性のなさによる躊躇)
- 新興住宅地（平成以降）は互助の対象外という意識が強い  
(対象者が多くない事、互助の対象ではないという認識が強い)

28

# 街地区・北部地区自治会長ヒアリング

過去～現在



農村的

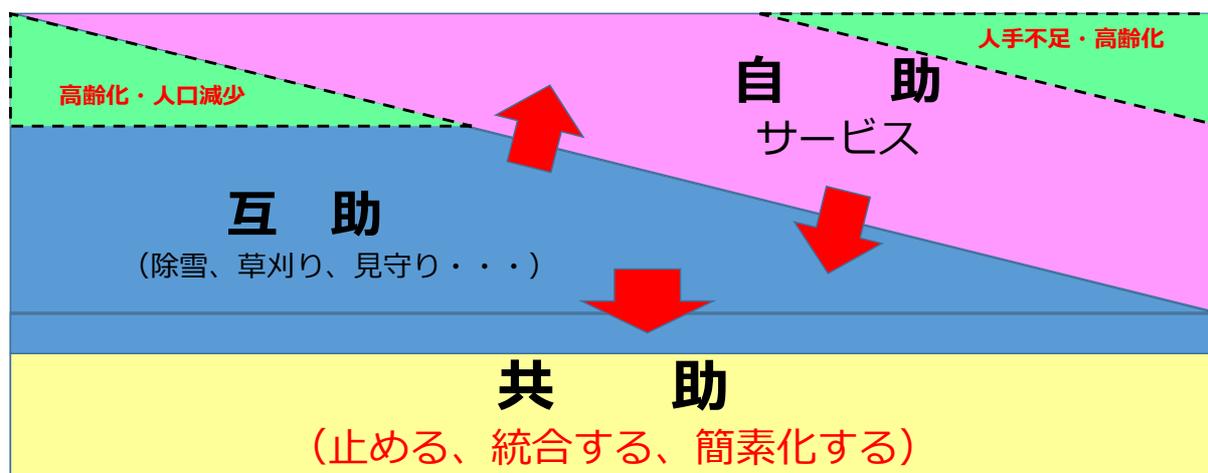


都市的

29

# 街地区・北部地区自治会長ヒアリング

現在～将来



農村的



都市的

農村部では互助の限界が近づく  
都市部ではサービスだけで対応できない可能性

30